

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・新しい事業が始まり、販売量が増えた。年末も例年 以上に売上は良くなる。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・売上が前年比10%伸び、好調に推移している。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・販売量、販売価格が少しずつ上昇しており、購買意 欲も上がっている。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	・庭の植え込みの注文やクリスマス関係の注文、結婚 式の注文等があり、販売量が伸びた。
		百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・今月は物産催事の集客が非常に良く、物産に対する 客の志向が強かった。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・売上が前年比102.6%となっており、来客数も悪く ない。部門別動向は家庭用品の動きが悪く、半年以上 前年比80%程度で推移している。衣料品は前年比 100%を維持しているのも、前月より若干良い。た だ、北海道物産展が前年の2けた増と大きく伸びた。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・寒くなり、衣料品の売上が先月と比べ23%ほど伸び ている。また、鍋物食材が売れ始め、前年比100.5% で推移している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・青果の相場が下がったにもかかわらず、売上が伸び ている。販促の効果が出ており、来客数もかなり増え ている。
		スーパー（総務 担当）	単価の動き	・商品単価が5%程度上がり始めており、やや良く なっている。
		コンビニ（販売 促進担当）	販売量の動き	・量販店の売上が前年比113.3%、コンビニエンス ストアが前年比100.5%、ローカルスーパーが前年比 105.1%となり、3か月連続で前年をクリアしてい る。
		住関連専門店 （店長）	販売量の動き	・単価の安い日用品の販売量は多いが、シーズン物の 動きが鈍い。
		高級レストラン （経営者）	来客数の動き	・来客数が増加傾向にあり、景気は上向きである。
		観光型ホテル （営業担当）	単価の動き	・低単価の状態が続いているが、徐々にではあるが質 の良いサービスを求める客も増えている。
		都市型ホテル （総支配人）	単価の動き	・大型ショッピングセンターの出店により関連業者の 宿泊が多かった。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・全体的に宿泊施設の稼働率が上がっている。秋は各 種大会やレセプションが例年多いが、ビジネス需要と 相まって軒並み稼働が高くなっている。
		旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・紅葉シーズンを迎え、京都が相変わらず人気であ る。近場の紅葉スポットでは、九重の夢大吊橋の開通 があり、前年比プラスとなったが、日帰りが多いた め、客単価は下降傾向である。海外は直行便の減便で 前年をやや下回った。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の乗客数はいまいちだが、昼間の客の動きは非常 に良い。また買物客もよく動いている。
	ゴルフ場（支配 人）	来客数の動き	・入場者数が増加しており、良くなっている。	
	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・注文住宅、分譲住宅等の問い合わせが増えており、 家の需要が上がってきた。	
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・唐津くんちにもかかわらず、消費者の動きが鈍い。 暖かい日が続いたので衣料品の動きが弱い。
		一般小売店〔鮮 魚〕（店員）	来客数の動き	・近くのスーパーが売上不振で廃業しており、厳しい 状態である。
		一般小売店 〔茶〕（販売・ 事務）	販売量の動き	・暖冬という事もあり、まとめ買いをする客が減少 し、単価の減少も見受けられる。企業単位での販売に 関しても、事務員へのお茶入れを廃止する会社も出て いる。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・11月中旬までコート、セーターを中心に消費も堅調 であったが、中旬以降急激に鈍化した。近隣に開設し た大型商業施設の影響である。

百貨店（営業担当）	販売量の動き	・気温が下がり始め、秋冬物商戦がスタートしたが、販売額は前年並みで推移している。高額品の動きが好調で、富裕層の消費意欲はおう盛だが、ポリウム品の売行きが悪く、中流層以下の消費意欲は依然高くない。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・紳士、婦人衣料共にファッション性の高い商品の動きが良い。暖冬にもかかわらずコートは好調に推移しているが、シーズン性の高いセーターの動きは鈍い。前月に続き恒例の物産催事は連日好評で来店を促進したが、全店の来客数は前年割れであった。目的買いが多く、シャワー効果が出ない。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・気温が平年より2度近くも高く冬物の動きが鈍い。前年が厳しい寒さで防寒衣料が好調だったこともあり、その反動で非常に苦しい状況が続いている。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・暖冬により、冬物衣料が売れず、厳しい状況である。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・秋、冬新商品の強化と物販催事の拡大で、前半は来客数、売上とも前年比5%以上の伸び率を達成した。しかし、中盤以降は、天候不順などが影響し、不調であった。市内の大型量販店は好調に推移しており、購買の二極化が加速している。
百貨店（業務担当）	販売量の動き	・高止まりした気温の影響もあるが、全体的に衣料品の動きが鈍い。
スーパー（店長）	販売量の動き	・健康志向と価格の問題で素材の販売量が落ち込んでいる。一方、調理品が伸長しているが、素材の落ち込みをカバーするまでには至っていない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・気温が高く、冬物の暖房用品、衣料品がなかなか売れない。昨年と比べても来客数が伸びない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・食品は前年比6.3%増となったが、気温が高かった影響もあり、衣料品は前年比7.6%減、住居用品は前年比2.8%減となった。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・今月末に大型商業施設が開業し、客が流れている。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・気温が下がらず、衣料品の厳しい状況が続いている。ただし、かろうじて昨年をクリアできる状況である。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・来客数、売上とも既存店でほぼ前年並みで推移している。ただし、今年は暖かい日が多く、鍋物材料や冬物衣料といった寒さに応じた商品の動きが悪い。
コンビニ（エリア担当・店長）	お客様の様子	・来客数は変わらないが、客単価が低下傾向にある。
コンビニ（エリア担当・店長）	お客様の様子	・購入単価を見ると、購入意欲は上がっていない。買上点数の多い客をみかけるが、景気が上向きであるとは言えない。
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・一気に寒くなりコート類が売れ始め、客単価が上がった。しかし、かなり吟味して購入している客が多く、少し暖かい日はコート類は売れず、売上が下がった。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・地上デジタル放送が始まるため、来客数が増加している。
家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・寒さの到来が遅れ、季節商材の動きが非常に悪い。来店客の減少につながっている。
家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・家電関係の需要はやや伸びている。
その他専門店 〔コーヒー豆〕 （経営者）	お客様の様子	・昨年の客の来店状況からするとあまり変わらないが多少下がっている。
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕 （統括）	販売量の動き	・燃料油の仕入価格も下げ基調に入り、小売価格も下がりがつつある。寒さも加わり、灯油も順調に販売できている。昨年に比べて、販売量等の増減はさほどない。
高級レストラン （専務）	競争相手の様子	・鹿児島では県外資本の店舗が入っており、南にどんどん商圏が伸びている。中心市街地の客が少なくなり、にぎわいも少なくなっている。今後ますます競争が厳しくなるため、大変厳しい状況である。
一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・パーティーの客は減ったが、一般客が若干増えた。トータルでは昨年と変わらない。

	タクシー運転手	お客様の様子	・ゴルフのトーナメント期間中は昼夜とも客が多かったが、期間以外の夜は週末、金曜日だけ乗客は多く、全体的にはあまり変わらない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・全般的にみれば若干良くなっている。人の流れは良くなり、購買意欲も上昇している。業界では飲酒運転の事件が多く、夜の客が目減りしている。
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販売量が若干伸びている。
	通信会社（業務担当）	販売量の動き	・携帯電話の番号ポータビリティ導入による動きも落ち着いている。価格の値下がりもあり、週末を中心に販売数が伸びているが、平日の落ち込みにより、全体では横ばいの状況にある。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・ゴルフのトーナメント時期をピークにゴルフが好調であり、団体客も増えてきた。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設の入園者は前年比5%程度伸びており、団体客は横ばいで推移している。
	ゴルフ場（スタッフ）	お客様の様子	・入場者数に変化がなく、忘年コンペの予約が少ない。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・販売量が横ばいとなっており、競争相手の様子をみても同じような状況である。
	設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・建設コンサルタントの発注量は、民間においては一部の住宅メーカーやマンション業界に限られている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心街に唯一残っていたスーパーマーケットが閉店し、来街者が極端に減っている。日中は誰も通らない状況で大変厳しい。
	商店街（代表者）	それ以外	・テナントの入りが悪くなっており、従来の家賃より安い設定となりつつある。街全体として、景気が悪くなっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の来街者数が極端に減っている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・本来売れるべきニットやジャケットの動きがとても鈍い。ただコートは売行きは非常に調子が良い。客は購入に際して、随分慎重になっている。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・商圏内に大型商業施設が開店し、昨年同様の販促では来客数が大幅に減少している。
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・最近オープンした競合店の影響が大きく、来客数の減少が大きい。特に休日・祝日の雨天日には大型商業施設への客の流れが大きく、ポイントカードサービスやチラシ価格の訴求、夕方の品ぞろえ強化等ではカバーできない状況である。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候不順により売上也大きく左右され、季節商品のおでん、肉まんの販売数が昨年を下回っている。全体的に昨年を下回っているが、価格訴求を実施し、値下げをした商品の販売数は予想以上に増えている。
	衣料品専門店	来客数の動き	・気温が下がらず、雨の日が多いので来客数が非常に少なくなっている。
	衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ヤング婦人服、ミセス婦人服が前年割れとなり、衣料品の売上が悪い。一方、貴金属、宝石の売上は好調で、前年比150%を超えており、特に中高級品が売れている。着物は前年比横ばいだが、販売員は苦戦している。全体としては、少し前年割れの状況である。
	乗用車販売店（管理担当）	お客様の様子	・新車イベントをやってもなかなか受注、契約には至らない。燃料高、コンパクトカーへの移行が理由である。整備関係は好調である。
	住関連専門店（経営者）	単価の動き	・キャンペーン等を行ったが相変わらず厳しい状況が続いている。また、来客数に比べて客単価が低い。
	一般レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・取引先から販売量が落ち込んでいるという話を聞く。
		タクシー運転手	お客様の様子
悪くなっている	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価がかなり落ちている。来店しても高額商品には手を出さず、目玉商品、集客商材を中心に購入する客が多い。

		衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・8月から続く売上不振は11月も続いている。先月末にかけ少し動いた秋物衣料も、暖冬により動きが鈍くなっている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・季節商材ではあるが、3か月前に比べると注文が増えている。
		化学工業(総務 担当)	それ以外	・自家用車の買換え、薄型大型テレビの購入など、大型耐久消費財に対して購買意欲が活発である。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比較すれば、受注量が増加してきた。
		輸送業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・年末の出荷に向けて商品の入出庫が多くなってきている。9月からCMを始めたメーカーは宣伝効果もあり、入出庫とも多くなっている。
		その他サービ ス[物品リー ス](役員)	取引先の様子	・景気の上向きの影響が企業のキャッシュフローに余裕が出てきたのか、リース取引の伸びより買取である割賦取引の伸びが顕著になってきた。
	変わらない	家具製造業(従 業員)	受注量や販売量 の動き	・今月の受注量は例年並みとなっている。需要がおう盛になる時期であるが、物件情報はここ2~3年と比較して少ない。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	取引先の様子	・ギフトが大分落ち込んでおり、メーカー関係では受注が減少している傾向がみられる。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・当面の受注量の目星がついており、以前から比較しても今後受注量にあまり変化が見られない。
		電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・電子部品関連のリードフレーム並びにコネクタ関連の金型関係は、フル操業と非常に忙しい状況が続いている。ただし、大手企業や精密機械部品関係企業では、忙しさに多少の格差が出ている。
通信業		受注価格や販売 価格の動き	・工事の引き合いは変わらないが、長引く公共工事の減少や談合問題などの影響で、業種を変更している業者が増えた。価格競争が激しくなり、断っている物件が増えている。また、協力会社等も大変厳しくなっており、現状が長引けば倒産する会社も出てくる。	
金融業(営業担 当)		取引先の様子	・既存に保険へ加入している客の大半は、保険料の軽減をいまだ望んでおり、新たな資産運用面での保険加入意識は低い。	
やや悪く なっている	農林水産業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・原料不足で工場の稼働が半減している。加えて冷凍食品メーカー、搬送メーカーの需要も思ったほど上がっていない。対中国の輸入物の加熱・加工品の増加も影響がある。	
	繊維工業(営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・暖冬のため、売行きが悪く、受注が少ない。中国で先に大量に作ったものがまた在庫になる。	
	建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・手持ち工事がいっぱい、大きな工事を受注できる状況ではないが、最近見積り依頼、入札等が少なくなってきた。	
	輸送業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・アパレル、化学工業品、飲料水等の荷動きが悪い。	
	金融業(調査担 当)	競争相手の様子	・資金需要が低迷している。	
	金融業(得意先 担当)	取引先の様子	・建設業、医療業が集中している地域で、特に建設業においては公共工事が削減される中かなり厳しい状況になっている。また、金利が上昇傾向にあり、資金需要も少なくなっており、手控える動きが見られる。	
悪く なっている	経営コンサル タ	受注量や販売量 の動き	・飲酒運転の問題で20~30%の飲食店の売上が減少している。その影響で業務用酒販店の売上が落ちてい	
雇用 関連	良く なっている	民間職業紹介機 関(支店長)	求人数の動き	・年末、年度末需要が昨年の10%以上の求人数となっている。正社員採用を前提とした求人依頼は、早くも前年の3倍以上に達した。企業の採用意欲がおう盛である。
	やや良く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・引き続きコールセンター関連の受注が多い。また、受注においても長期に及ぶ派遣の依頼が多くなっている。

	職業安定所（職員）	それ以外	・来年春の高等学校卒業予定者の求人の状況と内定の状況が、管内では昨年比26%ほど求人が増えており、製造業中心に多くなっている。県下全体も昨年比30%ほど増えている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・専門職のみならず、正社員の求人が増加している。学卒も非常に好調で、人材確保の動きがみられる。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・秋口に入り登録者数が減少している。企業側の募集もコールセンター等の大口で募集するところがある一方、一般事務業務には消極的である。
	求人情報誌製作会社（経営者）	雇用形態の様子	・求人倍率は0.6倍弱であり、正社員の雇用というよりも現状派遣社員や契約社員という雇用形態をとっている企業のほうが多い。
	職業安定所（職員）	それ以外	・東京からのコールセンター進出が目立っている。また一方では、自動車販売業において売上不振から事業所閉鎖になるところがある。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・例年、この時期はお歳暮関係の求人が活発になるが、今年は全般的に活発な動きがみられない。大手求人情報誌会社の進出で、そちらに求人が集中している可能性もある。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・北部九州の自動車関連産業は活発だが、増産など一部の企業の採用はあるものの全般的には鈍い。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・派遣を取り止め、正社員化、直接雇用化を進める企業が現れてきている。コンプライアンス強化と企業イメージの向上を狙いとするものであり、追随する企業が増加すると売上に大きく影響する。
悪くなっている	-	-	-